

# 東日本大震災の教訓等についての考察

「津波てんでんこ」は  
昔からの言い伝えではない

「釜石の奇跡」は誤報である

「大川小学校の悲劇」は  
先生の判断ミスだけではない

このような教訓の誤りについて考察した

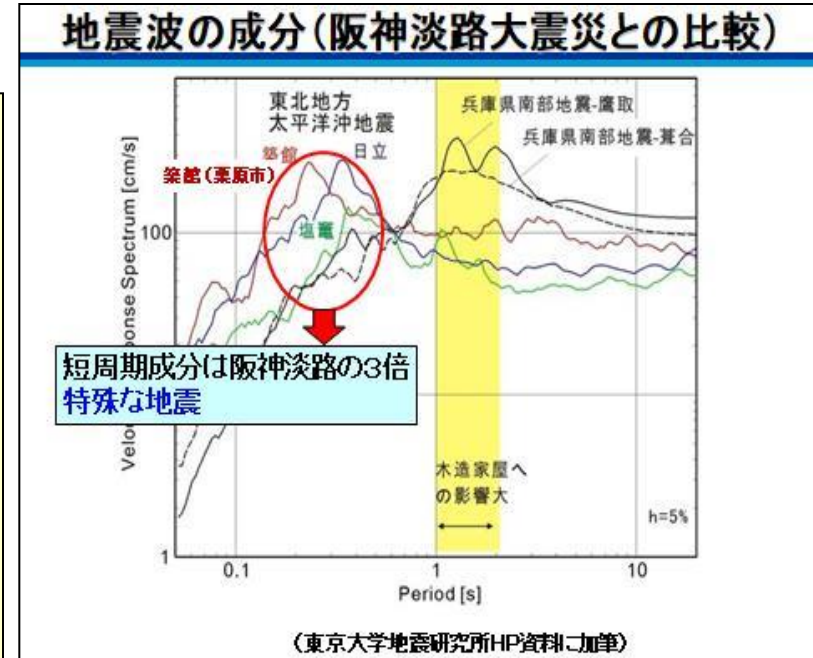
(小村隆史・宮本英治)

# 1 震度情報と津波情報

## 震度情報の問題

東日本大震災では、震度7でも建物倒壊は少なく計測震度と被害の相関が悪い

→計測震度の計算式の改善が必要である



## 津波情報の問題

東日本大震災ではMj7.9に基づき、岩手3m、宮城6m、福島3mと発表され津波高を過小評価した

津波到達情報は、最初に到達した津波高が宮古港20cmのように発表され安心情報として誤解された

## 2 田老町は「敗北」か？

# 田老町の敗北と言うよりも 津波警報の敗北であった

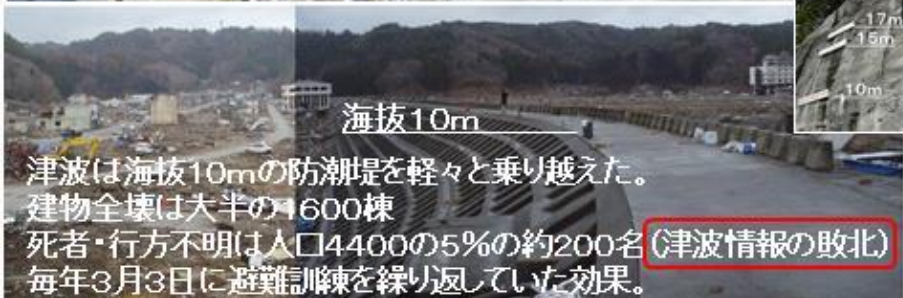
### 田老は敗北したのか？ 1/2



明治三陸津波: 15m  
死者・行方不明は1900人(当時の人口2600人の73%)  
昭和三陸津波: 10m(昭和8年3月3日)  
死者・行方不明は900人以上(当時の人口1800人の50%)



### 田老は敗北したのか？ 2/2



### 3 普代村の「勝利」

津波があと2~3m高ければ大きな被害を出したと思われる薄氷の勝利であった

普代村の勝利 1/2(譜代川の大水門)



津波高は20mで大水門を超えたが、住宅地の手前で止まり、死者は発生していない。

普代村の勝利 2/2(太田名部の防潮堤)



被害のない住宅側



壊滅的被害の漁港

# 4 津波てんでんこ

「津波てんでんこ」は昔からの言い伝えではない

東日本大震災以前の石碑に記載はない

「津波てんでんこ」は、高齢者や障がい者等が共に助かる方法を放棄する「残酷・傲慢・怠慢」である

## 「つなみてんでんこ」について



2008年新日本出版社

「つなみてんでんこ」は1990年に山下文男氏から紹介された「てんでんこ」の話(津波で父親が子どもを置いて先に避難した言い訳話)をメディアが「つなみてんでんこ」として報道したもので、三陸の昔からの言い伝えではない(P. 232)。

東日本大震災で「つなみてんでんこ」が広まったが、東日本大震災以前に「つなみてんでんこ」と記載された石碑を見たことがない。

※子供たちが危ない故郷をてんでんに捨てて行く。



2016年 岩手日報

## 教訓(岩手県宮古市姉吉の石碑)



石碑は標高50mにある

# 5 釜石の「奇跡」

## 釜石の「奇跡」の美談は作り話である

- ・中学生の避難開始は先生の指示
- ・小学生の避難開始は消防団員の声掛け

### 釜石の奇跡とは？



学校からの避難路

一時避難場所

さらに高台へ



### 鶴住居の今(2019年4月)



鶴住居駅前と釜石東中・鶴住居小



# 6 大川小学校の悲劇 1/2

児童74名と教員10名が犠牲になったが  
近隣住民約200名も犠牲になった。

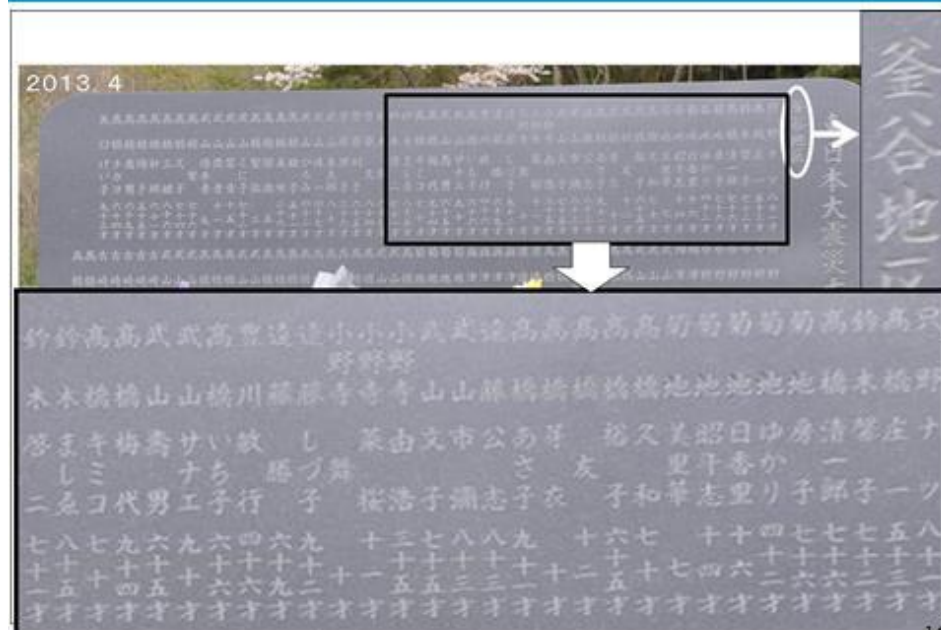
## ハザードマップについて

宮城県ハザードマップでは大川小学校は浸水範囲外で避難場所  
(設定条件はM7クラスの宮城県沖地震)



設定条件が変われば答え(解析結果)は変わる。  
設定条件を理解していないと想定外が起こる

## 釜谷地区の犠牲者(約200名)



# 6 大川小学校の悲劇 2/2

石巻市北部では、津波避難場所などで多くの犠牲者が発生した。その共通の原因は何か？

原因は、津波ハザードマップの理解にある  
真実を語る責務が地域安全学会にもある

## 悲劇の原因は？

50分もあったのに、先生はなぜ子供たちを避難させなかったのか

### 行政の政策に問題は？

- ・北上支所(津波避難場所)で多くの犠牲者(50数名)
- ・大川小学校の悲劇 多くの小学生の他にも近隣住民約200名が死亡
- ・雄勝病院での多くの死者(入院患者全員と医師・看護師をあわせて64名)



### 対象とする災害(規模)は？

- ・M7クラスの宮城県沖地震？
- ・M8クラスの三陸地震津波？

## 悲劇の原因は？

